

教科の年間指導計画

広島市立美鈴が丘中学校

学年		2 学年		教科目標	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力、思考や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。	
教科		国語				
月	週	単元	小単元・項目	時数	学 習 活 動	評価方法
4	3	1	明日 アイズプラネット 枕草子、自分流「枕草子」(書く) 説明のし方を工夫しよう	2 5 6	言葉の使い方や表現の特徴に注意し、自分なりの感想を持ちながら読む。 登場人物の言動や心情を表す表現などに注意して、作品を読み取る。 情景描写の巧みさを読み取り、作者の季節感について自分の考えを持つ。	定期試験 単元別漢字 漢字ノート ワークブック ノート 漢字テスト 感想文 人物紹介新聞 短歌調べ・鑑賞文 創作短歌 作文・手紙文 学習プリント プレゼンテーション 朗読 聞き取りテスト 小テスト 書写 授業観察
5	4	2	類義語・対義語・多義語(言葉1) 要点を整理して聞き取ろう(練習) やさしい日本語	4 2 1 5	目的や相手に応じて、伝える事柄の特徴や共通点・相違点などを明確にして必要な情報を整理する。 類義語、対義語、多義語などを理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 情報を整理して聞き取り、日常生活に生かす。 文章全体と部分の関係や具体的事例の役割などに注意して読み、内容を理解する。	
6	4	3	発表資料を工夫しよう(練習) 印象に残る説明をしよう ～プレゼンテーション 熟語の構成(漢字1) 新しい短歌のために 短歌十二首 短歌を創作しよう(書く) 言葉を選ぼう 小さな物語を作ろう(書く) 自立語(文法への扉1) メディアと上手につきあうために	1 5 2 5 5 1 2 3	1 分りやすい発表のために効果的な発表資料を作成し、日常生活に生かす。 聞き手の知りたいことを想定して情報を集め、論理的で分かりやすい構成を考えて説明する。 熟語の構成の種類について理解する。 短歌に示された語句の効果的な使い方や文章の描写の効果を参考にしながら、短歌を創作する。 言葉の微妙な違いが効果的に伝わるように描写を工夫して物語を創作する。 自立語について理解する。 メディアとの付き合い方に書かれた文章を読み、メディアについて知識や体験と関連づけて自分の考えを持つ。	
7	4	4	気になる「あの人」を探ろう 旅する絵描き 五重塔はなぜ倒れないか 読書案内 平和教育プログラム 盆土産	1 1 1 1	メディアを活用して興味ある人物について調べ、新聞にまとめる。 読書教材を読み、内容や表現の工夫について、感想を交流する。	
9	4	5	字のない葉書 敬語(言葉2) 気持ちを込めて書こう手紙を書く 相手の立場を尊重しよう(練習)	3 2 4 1	広島と世界のつながり(平和のためのレシピ) 方言や心情を表す語句の効果的な使い方を理解し、表現に即して優しさや温かさなどを読み味わう。 人物の言動や様子を描写した表現を表す語句に着目して読み、その人柄や心情をとらえる。 敬語の働きや種類について理解する。 伝えたい気持ちや用件を明確にし、効果的に伝わるように表現や構成を工夫して手紙を書く。 相手の立場を尊重し、自分の意見と比較しながら話し合う。	
10	5	6	君は「最後の晚餐」を知っているか 平家物語「扇の的」 徒然草「仁和寺にある法師」	4 5 3	初めて知ったことや興味を持ったところなどを、知識や体験と関連づけながら確認し合い、文章中のものの見方や考え方について自分の考えをもつ。 古典の文書を朗読して、その独特の調子やリズムに慣れ、作品を楽しむ。 描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え作者のものの見方や考え方について自分の考えをもつ。	定期試験 単元別漢字 漢字ノート ワークブック ノート 漢字テスト 意見文 感想文 朗読・暗唱 インタビュー 学習プリント 聞き取りテスト 小テスト 書写 授業観察
11	4	7	漢詩の風景 人物の特徴をとらえて(練習) 話し合っって考えを広げよう ～パネルディスカッション 用言の活用(文法への扉2) モアイは語る	3 1 5 4 4	漢詩特有の言葉遣いや調子を生かして読み味わう。 作品中の人物の特徴について考え、文章にまとめ、交流する。 社会生活のなかから話題を決め異なる立場や考えを想定して考えをまとめ、説得力のある意見を述べる。 用言の活用と種類について理解する。 構成や展開の工夫について考え、筆者のものの見方や考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもつ。	
12	3	8	事実を示して意見を書こう(書く) 立場と根拠を明確にして書こう ～意見文を書く 同じ訓・同じ音(漢字2) 走れメロス	2 4 2 6	筆者の文章を参考に、事実を示して意見を書く。 課題に対する自分の意見を決め立場とそれを支える根拠を明確にし構成を工夫しながら意見文を書く。 同じ訓をもつ漢字や同じ読みの熟語の使い分けについて理解する。 語句の効果的な使い方を理解し、表現の巧みさを読み味わい、描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる。	
1	4	9	文章の形式を(書く) 付属語(文法への扉3) 表現の仕方を工夫して書こう	2 4 4	文章の形式に応じて、表現の仕方を工夫して書く。 付属語について理解する。 気持ちや気持ちの変化が効果的に伝わるように、ある視点を定め、表現を工夫して書く。	
2	4	10	方言と共通語(言葉3) 送り仮名(漢字3) 身近な人の「物語」を探る ～インタビュー 言葉の力	2 2 6 3	共通語と方言の果たす役割について理解する。 送り仮名の付け方の原則と例外について理解する。 題材を決め、話の構成や展開などに注意して、話の要点を聞き取る。 筆者の考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもつ。	
		随時	書写(楷書・仮名・行書)	10	漢字の行書と行書に調和する仮名を学習し、楷書とともに日常生活に生かす。	
総授業数		140		時間		